

平成23年

8月号

[560号]



広報

かねやま

7月29日、本名ダム直下で大量の水が住居やJRの鉄橋を飲み込んだ

洪水が町を襲った。



① 水の力で壁が流された家屋（上横田）



② 鉄橋の一部が崩落した（西谷）



③ 水没した下夕原農地（本名）

④ 上田ダムの大量放水で一部が崩落した上田集落

義援金の受け付けをしています

町では、平成23年7月新潟・福島豪雨による災害復旧への義援金について受け付けをしています。

<義援金の取扱口座>

○東邦銀行 川口支店

口座番号：159497

口座名：金山町災害義援金

会計管理者 長谷川 一夫

○ゆうちょ銀行

口座番号：02240-3-11205

口座名：金山町災害対策本部

なお、ゆうちょ銀行、東邦銀行及び第一地方銀行は手数料無料です。



7月29日、未曾有の災害が町を襲った。当日、町では金山町洪水災害対策本部を町役場内に設置。災害状況の確認、安否確認などの情報収集にあたった。

激しい雨はその後も降り続き、町内は電気、電話、水道（一部地域）が停止した。その後、町では避難所を6箇所に設置し消防団や、地域住民、役場職員などが一丸となって支援活動を行った。

私たちは平成23年7月29日に発生した只見川大洪水に対し、皆で助け合えばならない。



②



①



④



③



⑤

甚大な被害

集中豪雨。
今まで経験のない程水かさを増す只見川。
わたしたちの想像を超える災害が現実となった。
一部地域では電気、水、電話が途絶え、不便な生活を強いられることとなった。

- ① とてつもない量のがれきに埋まる滝トンネル
- ② 泥に埋もれた大塩温泉共同浴場
- ③ 水に浸かった西谷地区
- ④ 落下した西部橋（西部）
- ⑤ 家の中に流れ込んだ大量の泥（越川）

温かい支援

大量に汚泥が流れこんだ
町の復旧のために、
多くの町民、ボランティアが、
毎日のように支援を続けている。

①



②



④



③

- ① 県内外からたくさんのボランティアが参加した
- ② 防災ヘリが孤立した集落から高齢者を救出した
- ③ 被害現場を視察する佐藤知事（本名）
- ④ 濡れて重くなった下駄箱を運び出すボランティアの皆さん（越川）

町の復興のために 全力で取り組みます

このたびの只見川大洪水では、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、このような大災害においても人的被害を出さなかったことは、皆さまの防災意識や避難対応において正しい知識と理解力、行動力があったからだと思えます。このことについて改めて感謝したいと思います。

さて、今回の被害はわが町にとって町制施行以来、最大級のものといっても過言ではありません。当面の生活については、町としても全力で対応してまいります。また、災害復旧についても被災された方の住環境やライフラインの確保に最大限の努力をしてまいります。

す。

次に、長期的には、流失した橋梁の復旧と只見線の再開をできる限り早期に実現し、また、被災箇所への復旧にあたっては洪水に対する万全な対策を考慮し、皆様方の安心・安全な生活が確保できるようにして参ります。

そもそも、二度とあってはならない昭和44年の大災害を超える災害が何故発生したのか、よく検証を行い、本当に二度とこのような災害がおこらないよう、全力で取り組んでまいります。金山町は、皆様方とともに全町をあげて復興への道を歩んでいくことをお誓い申し上げます。



金山町洪水災害対策本部長
長谷川 律 夫 町長

災害の記憶

大志区長 五ノ井 孝 喜 さん

7月29日夕方、只見川の水位の上昇が普通ではないと思います、区の役員、消防団で今後の検討をしました。その結果、このままでは上田発電所は水がはけきれず、水位は更に増していくだろうと判断しました。

また、只見町塩沢に土砂上げの船があり、それが流れてきたら上流の発電所が破壊されて川下が危険な状態にさらされるという危機感もありました。一時は大志集会所に避難しましたが、集会所は低すぎるのでやや上にある八幡神社に移動しました。

暫くすると、誰かの携帯電話に船が上流のダムにひっかかって水がオーバーフローしているという情報が入ってきました。それがあすなる館への避難を決断したきっかけです。地区全員が避難することになって、親戚の家に移る人たちは全員もれなくチェックしました。なかには家から出たくないと言った人もいました。可をもらい窓ガラスを割って家の中に入り強引に連れ出したのです。

あすなる館に行き苦勞したことは、携帯電話も通じなくなり情報が全く入ってこなかったことです。飲料水もなかったため、消防団の方々に水をくんできてもらいました。トイレの水も沢からバケツリレーで運んで使いました。

浸水による家具や 家電製品の処分に ついて

浸水により使用できなくなった家具類・家電製品・畳等の通常収集しない粗大ゴミは、現在国道沿いから順次搬出していますが、奥まった場所に置いてあるものについては後になる場合もありますのでご了承ください。

なお、被災されないお宅の粗大ゴミは、11月17日の収集日に出されるようご協力をお願いします。各自で運搬される場合は、小栗山のスキー場第1駐車場と横田の旧小林木材裏敷地が仮置き場となっていますので、崩れないような安全な場所に置いてください。

燃えるゴミについては、通常どおり収集しますので、各地区収集場所に出してください。

◎問い合わせ 住民課保健医療係

☎ 54-51335

真心を詰めた「元気袋」 全国老人クラブからの贈り物



「元気袋」を受け取る鈴木景一さんご家族

7月7日、南相馬市から金山町に避難している鈴木景一さんご家族に対して全国老人クラブ連合会より「元気袋」が送られました。

これは全国老人クラブ連合会が東日本大震災の被害に遭われた方々を励ますために行っているものです。全国の老人クラブ会員が作ったきんちゃく袋に日用品を詰め合わせ、励ましのメッセージも同封しています。

鈴木さんは「3月下旬に金山町に来ましたが、町の人たちに大変よくしてもらって助かっています。南相馬市に戻るのはまだまだ時間がかかりそうですが、なんとか頑張りたい」と話しました。

待ちに待った初泳ぎ 川口・横田保育所プール開き

7月12日、ギラギラした夏の日差しがふりそそぐなか、川口保育所と横田保育所ではプール開きが行われました。川口保育所ではプール開きを始める前に子どもたちと先生と一緒にプールの清掃を行いました。子どもたちはこれから使うプールのゴミを丁寧に取り除いていました。

横田保育所では庭に大きなビニールのプールを設置し、めでたくプール開きが行われました。子ども達は水着に着替え、大きな歓声と水しぶきをあげていました。長い夏、水の事故・ケガなどがないように楽しみましょう。



プール清掃をする子どもたち
(川口保育所)



初泳ぎではしゃぐ子どもたち
(横田保育所)



応援にも力が入ります



投げられるドッジビーの方向に緊張が走ります

ドッチビーで盛り上がる 少年少女球技大会

第38回少年少女球技大会が、7月18日に町青少年育成町民議会、中央公民館の主催で町民体育館にて行われました。大会にはうちかわ（川口、小栗山、八町、玉梨）、大志・板下、水沼・本名、横田の4チームが出場し、ドッチビーというフリスビーとドッチボールの要素を取り入れた競技で優勝を争いました。

なかなかまっすぐに飛んでくれないフリスビーの動きに戸惑う子どもや、逆に器用に操る子どももいたりして会場は歓声や悲鳴が飛び交っていました。

大会は横田チームが優勝を果たしました。



山頂にたどり着き笑顔を見せる参加者

高森山に登る 『こめらっこ広場』の16人

7月9日、「こめらっこ広場」で高森山（標高827m・横田）登山をしました。

「こめらっこ広場」は昨年までのキッズクラブ（中央公民館）とわんぱく教室（横田公民館）が統合してできたものです。このクラブは小学1年生から6年生までの25人が活動しています。

今回はそのうち小学生16人が参加し、大人も保護者など9人が登りました。天気もよかったので登る途中横田地区の集落が遠くに見え、自分の家を見つけて喜ぶ子どももいました。また、遠くに浅草岳などの山々が見え、登山の面白さを満喫したようでした。初めて参加した1年生の2人も山道を頑張って登りきりました。

イネの病害虫対策を学ぶ あぜ道講習会

7月12日から14日の3日間あぜ道講習会が行われました。今年度は金山普及所より山田英雄氏、（株）奥会津金山大自然より渡部宏昭氏を招き水稻の生育状況や、いもち病やカメムシ等の病害虫対策についてを中心に各地区で講習を行いました。

講習の後には実際に農家の方とは場に入り、それぞれのは場に適したアドバイスをを行うなど、実情にかなった指導に農家の方も真剣に耳を傾けていました。

なお、今年度の講習会は終了しましたが、普及所では現在でも水稻をはじめとした作物に対するご質問・ご相談を受け付けております。講習会に参加できなかった方や、聞き逃したことがある方などありましたらご相談ください。

金山普及所 54-2801



講師の話に耳を傾ける参加者

只見線全線開通40周年号 旧型客車が奥会津を走る

7月23日・24日の2日間に渡って、只見線をレトロな旧型客車が走りました。これは、只見線が1971年8月の全線開通から今年で40年目を迎える事を記念し、会津若松駅から只見駅間で「只見線全線開通40周年号」を運行したものです。

会津川口駅でも歓迎のおもてなしのセレモニーが行われ、列車を降りた観光客の皆さんは差し出された冷たいきゅうりに金山産の味噌をつけておいしそうに食べていました。



力強く走るディーゼル機関車



乗客でにぎわう川口駅前

お知らせ

今月の納税

- 町・県民税
- 後期高齢者医療保険料
- 保育料

8月分 1期 2期

納期限は
8月31日です

納め忘れに
ご注意ください

お知らせ

新しい農業委員が決まる

任期満了に伴う町農業委員一般選挙が7月5日に告示され、定数10人に対し10人の立候補者があり、無投票で当選しました。各団体の推薦を受けた選任委員を合わせ、15人の新たな農業委員が決まりました。

これに伴い7月20日に開

農業委員会の役割

田や畑などの農地は、食料の大切な生産基盤であるため、農地法により一定の規制がかけられています。

催された農業委員会で、会長に遠藤晴男さん、会長職務代理者に諏江仁補さんが互選されました。

任期は平成23年7月20日から平成26年7月19日まで3年間です。

金山町農業委員

氏名	備考
遠藤 晴男	会長
諏江 仁補	会長職務代理
谷ヶ城 雄司	
目黒 一男	
渡部 精一	
栗城 栄一	
栗城 元一	
渡部 勇吉	議会推薦
井草 勲	
五十島 文栄	議会推薦
栗田 傳三郎	農業協同組合推薦
栗城 伸吉	
横田 義一	土地改良区推薦
小沼 茂	
菅家 健一	農業共済組合推薦

案内

妖精美術館で企画展を開催

妖精美術館では「若月まり子妖精の国展」を開催しています。

館内に一歩足を踏み入れると今にも動き出しそうな

◎問い合わせ：

農業委員会事務局
☎ 54-5321

このため、自分の土地でも自由に農地の転用や売買をすることができません。農地を田や畑以外の住宅用地や車庫、山林などとして利用する場合や一時的に資材置き場などに利用する場合には農業委員会の許可が必要となります。

なお、申請から許可が出るまで2ヶ月程度かかることがありますので、農業委員、または農業委員会事務局までお早めにご相談ください。



きめ細かく作られた作品

◎問い合わせ：妖精美術館
☎ 55-3180

▼開館時間
午前9時～午後5時
▼休館日
水曜日
(水曜日が祝日の場合は、その翌日)

人形の数々が出迎えます。丁寧に作り上げられた丁寧な作り上げられた作品をぜひご覧ください。
企画展は、閉館する11月10日(木)まで行われています。

これからの予定

★8月★

15日(月)
・金山町成人式

17日(水)
午前10時～開発センター
・運転免許更新

午前9時～開発センター
・膝腰痛予防教室
午後1時30分～
ゆうゆう館

★9月★

8日(木)
・行政相談
午前10時～ 金山町役場

9日(金)
・膝腰痛予防教室
午前9時30分～
横田公民館

15日(木)
・リハビリ教室
午前9時～ ゆうゆう館

県民健康調査について

原子力災害に伴うこの調査は全町民が対象になり、8月以降に行われます。

県立医大からの調査票が各戸に届きますので、質問事項について記入し、同封の返信用封筒で返送してください。

回答いただいた方には、年内をめどに被ばく線量の推計評価をお知らせする予定です。

質問事項は、平成23年3月11日から2週間程度の行動記録（いつ、どこにいたかなど）と、自家栽培の野菜をどの程度食べたか、などとなります。

長期的に管理するものなので分かる範囲でご回答ください。

◎問い合わせ：保健医療係
☎54-5135

防災無線機を交換します

昨年度設置しました防災無線機に不具合が発見され、メーカーより無線機交換の申し出がありました。

そのため、現在お宅に設置されている防災無線機を回収し、新しく製造した物

と交換します。交換業者である日本通運㈱から事前に電話連絡がありますので、都合のよい交換日をお伝え下さい。その後、ご指定の日に来宅し防災無線機を交換します。

◎問い合わせ：政策財政係
☎54-5222

聴覚障がい者相談会

福島県障がい者総合福祉センターでは、聴覚に障がいのある方や聞こえにくいことで日常生活に不自由を感じている方、そのご家族を対象に相談会を開催します。

相談会に参加を希望する方は申込みが必要のため住民福祉係までご連絡下さい。

▼日時・場所

9月13日（火）

午後1時～午後3時

▼場所

開発センター2階

▼担当医師

大原綜合病院

高取 隆 先生

◎問い合わせ：住民福祉係
☎54-5131

ハチ防護服の貸し出し

町では、ハチの駆除作業

の際に着用し、ハチから身を守る防護服（ネット付きヘルメット、つなぎ、手袋、長靴）の貸出をしています。防護服は、役場本庁と横田出張所に一式ずつ備えられていますので、電話で確認のうえご利用ください。なお、防護服を着用していても作業時は十分に注意してください。

◎問い合わせ：保健医療係
☎54-5135

被災証明書を発行しています

東日本大震災による被災者支援として、平成23年6月20日から高速道路無料化が開始されたことに伴い、町においても高速道路無料通行のための「被災証明書」を発行しています。

◎問い合わせ：住民福祉係
☎54-5131

ご寄付に感謝

ふるさと応援寄付金

次の方から金山町ふるさと応援寄付金を頂いています。

●会津坂下町の渡部きよ子さんから4万円

●匿名希望の方から14万円

お願い

ご寄付は金山町の自然環境の保全や地域活性化などの事業に活用させていただきます。

オオハンゴンソウの除草をお願いします

オオハンゴンソウは北米原産のキク科の植物で、觀賞用に日本に持ち込まれましたが野生化して道路脇や川沿いで見かけられます。放置すると、在来植物を消



在来植物に被害をもたらすオオハンゴンソウ

滅させて山菜などが採れなくなる被害が出ます。見つけたら刈り取ったりして除草しましょう。

◎問い合わせ：農林振興係
電話54-5321

新潟県および福島県の大雨により被災された方に対する「電気料金等の特別措置」について

東北電力㈱では、このたびの大雨により被害に遭われた方からお申し出があった場合に電気料金等の特別措置を行います。

内容は、以下のとおりです。

1. 電気料金の支払期限の延伸
2. 不使用月の電気料金の免除
3. 工事費負担金の免除 など

詳しくは、東北電力コールセンターまでお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-175-466

受付時間

月～金（祝日除く）午前9時～午後8時まで
土（祝日除く）午前9時～午後5時まで

個人事業税の定期課税延期について

県内で事業を営んでいる方を対象とした個人事業税は、通常8月31日（第1期分）までと、11月30日（第2期分）までの2回に分けて納付することになっていますが、今年度課税分については東日本大震災に伴う納期限等の延長措置により、納税通知書の発布を延期しています。

具体的な課税の時期については、確定次第、広報等によりお知らせします。

◎問い合わせ…

会津地方振興局県税部

☎0242-29-5251

講演会のお知らせ

福島県栄養士会では原発事故の現状把握と日常生活の留意点についての講演会を開催します。

- 日時：8月28日(日)午前10時から正午まで
- 場所：コミュニティ施設ピカリンホール
会津若松市北会津町荒井字諏訪前11
- テーマ：「チェルノブイリからふくしまへ」
- 講師：認定NPO法人
日本チェルノブイリ連帯基金
神谷 さだ子 先生

※入場無料です。是非、ご参加ください。

●申込み先

物永 葉子 宛「8/28講演会参加希望」と記入し

FAX0241-45-2229 まで

平成23年度自衛官募集案内

自衛隊では、平成23年度自衛官等を次のとおり募集します。受験料は一切かかりません。

●募集職種・対象年齢

- ①一般曹候補生 ・18歳以上27歳未満
- ②自衛官候補生(男子)・18歳以上27歳未満
- ③自衛官候補生(女子)・18歳以上27歳未満
- ④航空学生・高等学校卒(見込含) 21歳未満

●受付期間

8月1日(月)から9月9日(金)まで

なお、試験期日や試験内容などの詳細については、次のところにお問い合わせ下さい。

◎問い合わせ…

自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所

☎0242-27-6724

福島県弁護士会 震災・原発相談窓口

福島県弁護士会では、これまで無料電話相談や県内の各避難所への出張無料相談を行ってきましたが、あらためて震災・原発相談窓口(予約制・面談相談)を設置します。

相談料はかかりませんので、お気軽にご予約ください。

◎問い合わせ…

会津若松法律相談センター

会津若松市追手町3-2-4

大手門ビル201号

受付フリーダイヤル(平日10時～16時)

☎0120-700-791

7月24日、曇り空の下を参加者36人は新潟県魚沼市と只見町にまたがる1585メートルの浅草岳をめざしました。2年連続の浅草岳登山ですが、桜ゾネ登山口(魚沼市)から昇り、今年はブナ林を下って入叶津口に下山するコースです。青少年健全育成が後援するこの事業に今年は3組の親子が参加しました。川口高校教諭の五ノ井平吉さんは息子さんの岳弘くん(小五)とともに参加。所要所で安全に気を配り声をかける光景が見られました。また、他の参加者に励ましの言葉をかけられ、疲れも見せずに元気に登ることができました。



みなさんも来年は家族で参加してみてはいかがでしょうか。

中央公民館では毎年7月に町民登山を行っています。

家族で自然を満喫



生涯学習のマスコット
マナビィくん

生涯学習
だより

167

☆あたらしい本が入りました☆

一般向け 下町ロケット

池井戸 潤 著 (小学館) 第145回直木賞受賞作品

大田区の町工場が取得した最先端特許をめぐる、中小企業VS大企業の熱い戦い！かつて研究者としてロケット開発に携わっていた佃航平は、打ち上げ失敗の責任を取って研究者の道を辞し、いまは親の跡を継いで作業員200人の小さな会社、佃製作所を経営していた。

一般向け なでしこ力 さあ、一緒に世界一になろう！

佐々木則夫 著 (講談社)

サッカー女子ワールドカップで優勝した「なでしこジャパン」監督がもつ、女子選手の意欲を高める秘訣がここにある！

一般向け チョコ

宮部みゆき 著 (光文社)

5年前に使われたきりで古びてしまったピンクのウサギの着ぐるみ。大学生の「わたし」がそれをかぶって中から外を覗くと、周囲の人はぬいぐるみやロボットに変わっていく。表題作を含め、超常現象を題材にした朱玉のホラー&ファンタジー五編を収録。個人短編集に未収録の傑作ばかりを選びすぐり、いきなり文庫化した贅沢な一冊。

◆図書館の利用状況 (7月分)

月刊貸出冊数 91冊
(うち児童書 55冊)

県立図書館の本を紹介します。

○江 (上・下)

田淵久美子 著 (NHK出版)

○野菜の便利帳

坂本利隆 監修 (高橋書店)

○会津藩VS薩摩藩

星 亮一 著 (ベスト新書)

～お一人様3冊まで、貸出期間は2週間です。土曜日でも利用できます～

◎問い合わせ 中央公民館

☎ 54-5360

あの人この人

7月届出 (敬称略)

こんにちは赤ちゃん

今月は該当がありませんでした

お二人で幸せに

今月は該当がありませんでした

霊よ安らかに

黒田 丸 (92歳) 西谷

目黒 ミツ (95歳) 川口

栗城 ウメ子 (97歳) 上横田

佐藤 セツコ (99歳) 沼沢

若林 キクヨ (85歳) 板下

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口 (8月1日現在)

世帯数 1,132世帯 (-2)

人口 2,534人 (-1)

男 1,193人 (±0)

女 1,341人 (-1)

※ () 内は先月比 住民基本台帳から

診療所歯科だより



糖尿病と歯周病



市川公久 歯科医

これをご覧になっている皆さんの中に糖尿病にかかっている方がいると思います。糖尿病になると身体の抵抗力が下がりますので歯周病になりやすく、歯周病が治りにくくなってしまいます。

さらに糖尿病になると唾液の分泌量が減少し口の中の細菌を洗い流す作用が弱くなり、そのうえ白血球の機能が低下するため細菌の数が増加しますので、歯周病になりやすく、歯周病が治りづらくなってしまいます。

しかも厄介なことに歯周病菌は唾液に乗って全身を回りあちこちで悪さをします。ひどい場合、肺炎や心臓病を引き起こすことも報告されています。

糖尿病の治療と並行して歯周病の日頃のケアをしっかりとすることが重要です。

歯の磨き方は以前にご紹介したとおりですがさらに歯ブラシにはこれらの病原菌が付いたままになることが多いので最低でも1ヶ月位で交換することをお勧めします。

地域で支えあいながら



橋立地区では被災以降、地区の人々が集って朝晩の食事をするようになりました。こうして人々が集まることでいろいろな話ができ、それが安心感につながっていきます。町も少しずつ、復興に向けて歩き出しています。